



田口高校でドローンの操縦を体験

愛知県立田口高等学校にて、設楽ダム工事事務所と中部技術事務所から出前授業を行いました。林業科の生徒16名がドローンの基礎知識を学び操縦体験しました。

今回の出前授業は、建設産業の「担い手確保」を重要な課題とした『あいち 土木の魅力・未来プロジェクト』※1の一環として実施するものであり、未来を担う学生たちに仕事の魅力ややりがい伝わる広報を展開するものです。

- 開催日時 令和2年1月23日（木）10：15～13：05
- 実施場所 愛知県立田口高等学校（愛知県北設楽郡設楽町清崎林ノ後5-2）
- 参加者 愛知県立田口高等学校 林業科生徒 16名
- 授業内容 無人航空機の知識、ドローンの操縦体験



座学では、職員の説明を真剣に聞いていました



操縦体験前に実際の機体で操作説明



生徒一人ずつ、全員が操縦をしました



生徒自ら操縦し、ドローンで空撮をしてみました



ドローンのカメラ映像と機体をよく見て慎重に操作

（※1）昨今の建設産業全般において『担い手確保』は最も重要な課題の一つとなっている中、中部地方整備局の愛知県内の事務所（一部）と中部建設青年会議愛知支部が中心となって令和元年11月11日に立ち上げました。